

**授業概要**

本講義では、心理学における様々な研究方法（実験法・質問紙法・観察法・面接法等の量的研究及び質的研究）と、研究法を支える基本的な考え方（心理学の科学性や研究の一連の流れ、データを用いた実証的な思考方法、研究における倫理など）について紹介する。また、一部内容においては簡単な実習を通じて、心理学研究における具体的な方法論に関する理解を深める。

**授業計画**

第 1 回	オリエンテーション
第 2 回	科学的研究とは？
第 3 回	心理学研究の種類と研究の展開
第 4 回	文献研究の方法
第 5 回	心理学研究と統計：データを用いて考える
第 6 回	心理学研究における倫理
第 7 回	心理学における実証的研究法①（実験法：実験法の概要と研究の流れ）
第 8 回	心理学における実証的研究法①（実験法：実験法の実際）
第 9 回	心理学における実証的研究法②（質問紙法：質問紙法の概要）
第 10 回	心理学における実証的研究法②（質問紙法：質問紙法の一連の流れ）
第 11 回	心理学における実証的研究法③（観察法：観察法の流れ）
第 12 回	心理学における実証的研究法③（観察法：観察法の記録方法と配慮事項）
第 13 回	心理学における実証的研究法④（面接法）
第 14 回	心理学における実証的研究法⑤（検査法）
第 15 回	まとめ
第 16 回	定期試験

**到達目標**

- ①人間の心・行動を考察し、問題を解決していくうえで必要となる、科学的思考と研究方法について理解する。
- ②「何を、どのように研究するのか」を知ることによって、人間の心・行動についての理解を深める。

**履修上の注意**

- ・「心理学概論Ⅰ」を受講済みであること。
- ・大幅な遅刻・早退、その他受講態度に問題がある者は出席とみなさず、退室を求める。  
（講義中に配布する小レポート用紙を受け取り、これを講義終了時に提出すること。）
- ・本講義に関連して、心理学に関する調査や実験の協力を依頼する可能性がある。
- ・その他の注意事項について初回の授業時に伝えるため、**初回授業には必ず出席すること。**
- ・本科目は、公認心理師となるために必要な科目（公認心理師法施行規則第 1 条の四）に対応している。

**予習復習**

【予習】他の講義で取り上げられた内容を、研究の観点から振り返っておくこと。

【復習】「心理学実験」や「卒業研究」、「卒業論文」等の科目と密接に関連するため、本講義で学んだことをこれら講義や実習に活用できるように準備すること。

**評価方法**

講義各回で提出を求める小レポート(約 30%)と定期試験(約 70%)に基づいて評価を行う。

※小レポートと定期試験の成績にかかわらず、出席回数が 3 分の 2 を満たない者の単位認定は行わない。

**テキスト**

- ・テキストは指定しない。講義は各回講義時に配布する資料を用いて行われる。
- ・その他参考書については、講義中に適宜紹介する。